

2020年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2021年 3 月 23 日
研究・研修課題名	専門・認定作業療法士取得のための研修補助
研究・研修組織名(所属)	リハビリテーション部
研究・研修責任者名(所属)	森脇繁登(リハビリテーション部 作業療法士)
研究・研修実施者名(所属)	佐藤千晃、伊藤路子、後藤雪絵、石田史穂、稗田朝海、大西友香、奥野智寛

成果区分	<input checked="" type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input checked="" type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input checked="" type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	森脇繁登、佐藤千晃、伊藤路子、後藤雪絵、稗田朝海、大西友香、奥野智寛
学会名(会期・場所)、認定名等	① 緩和・支持・心のケア合同学術大会(2020.8.9-10 WEB開催) ② 第54回日本作業療法学会(2020.9.25-10.25 WEB開催) ③ 高次脳機能障害学会学術総会(2020.11.20-12.7 WEB開催) ④ 難病医療ネットワーク合同学術集会(2020.11.20-21 WEB開催) ⑤ 専門作業療法士取得研修(2020.11.7-8 WEB開催, 2020.10.1-11.30 eラーニング) ⑥ 中部日本ハンドセラピィ研究会(2021.1.30 WEB開催)
演題名・認証交付元等	① 第53回日本作業療法学会 演題名: MTDLP を用いて活動と参加の獲得に繋がった神経難病の一例 演題名: 小児脳腫瘍患者のトータルペインを支援した外来作業療法の一考察 ② 認定作業療法士取得 交付元: 一般社団法人日本作業療法士協会 ③ 第43回日本高次脳機能障害学会学術総会 演題名: 着衣障害に対する早期作業療法の有効性
取得日・認定期間等	認定作業療法士2名(認定日: 2020年6月1日、2020年9月1日)
診療報酬加算の有無	<input type="checkbox"/> 加算有() <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容

① 目的

日本作業療法士協会は、臨床現場での実践の質の向上を目的とした「認定作業療法士」および「専門作業療法士」の資格取得を推奨している。本資格取得には、定められた研修の履修や必要な単位等を取得する必要がある。当院のような急性期病院では、作業療法を実施する上で、前述した資格を取得し、急性期において活かしていくことは、実践の質の向上のために不可欠なものである。

本研修費の最終的な目標は「専門作業療法士」の取得を目指すことであるが、協会の規定から、まずは「認定作業療法士」を取得することが必要である。当院はすでに作業療法士1名が「認定作業療法士」の取得に至っている。そこで本研修費は、認定取得者は専門作業療法士の取得を、そして認定未取得者は認定作業療法士取得に向けて、定められた研修の履修および必要ポイントの取得を目的とする。

② 方法

附属病院リハビリテーション部所属の作業療法士が所定の講習会および学会に参加し、必要なポイントを取得する。以下に認定作業療法士、専門作業療法士の概略を示す。

-認定作業療法士の取得要件-

■共通研修（必須）：「教育法」「研究法」「管理運営」

■選択研修：「身体障害領域」「精神障害領域」「発達障害領域」「老年期障害領域」

(2 講座以上の受講が必須)

■ポイント数：基礎ポイント 50 ポイントを取得

■症例報告：事例報告登録制度に 3 事例の登録

-専門作業療法士取得要件-

■認定作業療法士の取得

■研修実践 20 単位

■臨床実践 20 単位

■研究実践 10 単位

■教育と社会貢献の実践 10 単位

③ 成果

①緩和・支持・心のケア合同学術大会 (2020.8.9-10 WEB 開催)

【後藤雪絵】2ポイント取得

②第54回日本作業療法学会 (2020.9.25-10.25 WEB開催)

【後藤雪絵、伊藤路子、石田史穂、稗田朝海、奥野智寛】伊藤・後藤6ポイント取得、石田・稗田・奥野4ポイント取得

③高次脳機能障害学会学術総会 (2020.11.20-12.7 WEB 開催)

【大西友香】3ポイント取得、選択研修の修了

④難病医療ネットワーク合同学術集会 (2020.11.20-21 WEB開催)

【森脇繁登】1ポイント取得

⑤専門作業療法士取得研修 (2020.11.7-8 WEB開催, 2020.10.1-11.30 eラーニング)

【大西友香、伊藤路子】4ポイント取得

⑥中部日本ハンドセラピィ研究会 (2021.1.30 WEB開催)

【森脇繁登】1ポイント取得

それぞれの詳細について以下に報告する。

①緩和・支持・心のケア合同学術大会

令和2年8月9-10日に開催された緩和・支持・心のケア合同学術大会にWEBにて参加した。がんに関連するサポーターケア、緩和ケア、心のケア、3つの合同大会学会であり学会テーマは「多様性 対話 そして 利他」であった。がん患者における痛みのマネジメントや体重減少の支持療法、AYA 世代患者特有の心理や行動、社会・家族背景を踏まえた上での緩和ケアが担う役割についてなど、多岐にわたる知識や理論、考え方を学ぶことができた。がん患者を支援する医療従事者として、臨床に活かせる多角的な支援を学ぶことができ、有意義な機会となった。認定作業療法士取得のための生涯教育基礎ポイントを2ポイント取得した。

②第54回日本作業療法学会

令和2年9月25日-10月25日に開催された第54回日本作業療法学会に参加した。Web開催かつアーカイブ配信もあったため、多くの講演等に参加することができた。学会テーマは「作業の魅力・作業の力～暮らしを支える作業療法の効果～」であったが、特に「科学技術 (ロボット・AI・ICT など)」を活用した暮らしを支える作業療法の効果」では、ロボットリハビリテーション

(様式1)

の作業療法等の具体的内容を聞く貴重な時間であった。ロボットの活用方法は、まだ不明確なことが多い中、徐々にその効果が明らかになっている。ただ、生活等への影響については今後科学的な検証が必要であると感じた。重度障害者支援を多く担う作業療法士は、その点も含めて臨床等での検証作業を行っていききたい。本学会において「MTDLP を用いて活動と参加の獲得に繋がった神経難病の一例」、「小児脳腫瘍患者のトータルペインを支援した外来作業療法の一考察」の2演題のポスター発表を行い、発表を行った作業療法士2名が生涯教育基礎ポイントをそれぞれ6ポイント取得した。本学会の参加により、作業療法士4名が生涯教育基礎ポイントそれぞれ4ポイント取得した。

③日本高次脳機能障害学会学術大会

令和2年11月20日～12月7日に開催された第44回日本高次脳機能障害学会学術大会(Web開催)に参加した。その中で、「着衣障害に対する早期作業療法の有効性」というタイトルで口述発表を行った。発表を通して、他施設の作業療法士と着衣障害に対する介入について意見交換を行うことができた。また、特別講演や教育講演、シンポジウムなどを聴講し高次脳機能障害に対する最新の知見を得た。また、この研修を通して、認定作業療法士取得に必要な生涯教育ポイントを3ポイント取得した。

④第25回 難病医療ネットワーク合同学術集会

令和2年11月20-21日に開催された第25回日本難病医療ネットワーク学会(ライブ配信)に参加した。難病医療および難病ケアに関連した企画が例年よりも多く開催された学会であった。特に意思伝達ソフト開発物語-ユーザーと支援者とともに作った20年間の歴史-では、Herty Ladderの意思伝達ソフトについてのお話であった。近年は多くのソフトが開発されているが、すべてが有料である。その中で本ソフトは無料であることから、臨床場面において患者へ紹介が行いやすい意思伝達ソフトの一つである。本講演を通して、臨床場面での活用の幅がより広がったと考えている。本学会の参加により、作業療法士1名が生涯教育基礎ポイントを1ポイント取得した。

⑤専門作業療法士取得研修

令和2年11月7-8日に開催された専門作業療法士取得研修 高次脳機能障害 基礎I(Web開催)に参加した。研修では、脳機能の基礎から高次脳機能障害の診かた、評価方法などを学んだ。また、この研修を通して、認定作業療法士取得に必要な生涯教育ポイントを4ポイント得た。

令和2年10月1日-11月30日の期間 e-ラーニング講座で実施された認知症基礎研修に参加した。各講義の後にテストがあり、合格することができた。内容は、老化に伴う心理的変化の理解、認知症の疾患に対する画像の見方や、認知症の評価、治療手段、家族支援、社会資源等の認知症の基礎知識の理解と整理ができた。この研修を通して、認定作業療法士取得に必要な生涯教育ポイントを4ポイント取得した。

⑥第8回 中部日本ハンドセラピー研究会

令和3年1月30日に開催された第8回 中部日本ハンドセラピー研究会に Web 参加した。本研究会は、useful hand を再考するというテーマのもと愛知県にて開催された。シンポジウムでは、「疾患別で useful hand を再考する」が企画されており、作業療法士が担うことが多い疾患別のセラピーについて、詳細なレクチャーがなされた。知識の再確認ができたことに加えて、新たな知見を得ることも多く、参加して大変良かった。本研究会の参加により、作業療法士1名が生涯教育基礎ポイントを1ポイント取得した。